

実施状況等報告書

令和4年6月25日

三重県知事 殿

住 所 : 奈良県宇陀市菟田野古市場511-2

商号又は名称 : 森庄銘木産業株式会社

代表者 氏名 : 代表取締役 森 本 定 雄

「経営管理実施権の設定を受けることを希望する民間事業者の公募・公表要領」第10の規定に基づき、実施状況等を報告します。

【公表内容の変更の有無】 (有り ・ **無し**) ※どちらかを囲んでください

報告の履歴

	報告年月日
1年目	令和3年6月15日
2年目	令和4年6月25日
3年目	
4年目	
5年目	

※毎年度記載してください

1. 基本情報 (※変更がある場合に記入してください)

商号又は名称	代表者氏名	主たる事務所の所在地	電話及びFAX番号	E-mail	ホームページ等URL	認定事業主

組織形態					設立年月日	事業の種類				資本金(出資金)
会社	協同組合等	森林組合	個人事業主	その他	昭和 年 月 日 設立	造林	素材生産	製材	その他	千円
				()						

※公表内容に変更がある場合は、変更の内容及びその理由について記載してください。

1年目 (令和2年)	変更の内容 変更の理由
2年目 (令和3年)	変更の内容 変更の理由
3年目 (令和4年)	変更の内容 変更の理由
4年目 (令和5年)	変更の内容 変更の理由
5年目 (令和6年)	変更の内容 変更の理由

5. 事業量等（事業量、事業区域、生産量の増加又は生産性の向上等）

事業期間 【基準（申請直近の事業年度）：平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日】

【目標（5年後の事業年度）：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日】

年度	事業区分	素材生産								造林・保育			左記以外の 林業の事業 量 ()	事業区域	
		主 伐				間 伐				材積計(m3)	植付(ha)	下刈り(ha)			その他 ()
		面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)	生産性 (m3/人日)	面積(ha)	材積(m3)	雇用量(人)	生産性 (m3/人日)						
(基準) 申請直近年	直営					69.50	2,809	983	2.9	2,809					三重県 津市・伊賀市 奈良県 宇陀市・東吉野村
	請負									0					
	合計					69.50	2,809	983		2,809	0.00	0.00	0.00	0.00	
(目標) 5年後	直営					80.00	3,500	1,000	3.5	3,500					
	請負									0					
	合計					80.00	3,500	1,000		3,500	0.00	0.00	0.00	0.00	
1年目 (令和2年)	直営					48.30	3,032	1,365	2.2	3,032					三重県 津市・伊賀市 奈良県 宇陀市・東吉野村
	請負									0					
	合計					48.30	3,032	1,365		3,032	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率														
2年目 (令和3年)	直営					80.00	4,037	1,520	2.7	4,037					三重県 津市・伊賀市 奈良県 宇陀市・東吉野村
	請負									0					
	合計					80.00	4,037	1,520		4,037	0.00	0.00	0.00	0.00	
	増減率														
3年目 (令和4年)	直営														
	請負														
	合計														
4年目 (令和5年)	直営														
	請負														
	合計														
	増減率														
5年目 (令和6年)	直営														
	請負														
	合計														
	増減率														
目標達成率															

※増減率は報告年度における基準年度に対する増減率 ※生産性は材積(m3)÷雇用量(人)の値

	申請時	1年目(令和2年)	2年目(令和3年)	3年目(令和4年)	4年目(令和5年)	5年目(令和6年)
素材生産の請負がある場合、主な請負業者名を記載						
造林の請負がある場合、主な請負業者名を記載						

6. 生産管理又は流通合理化等

	①適切な生産管理			②原木の安定供給・流通合理化等			
	作業日報の作成・分析による進捗管理や工程の見直し	作業システムの改善	その他（ ）	製材工場等需要者との直接的な取引	とりまとめ機関を通じた共同販売・共同出荷	森林所有者や工務店等との連携	その他（ ）
申請時	取り組んでいる	1年以内に取り組む予定		取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	
1年目（令和2年）	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	
2年目（令和3年）	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	
3年目（令和4年）							
4年目（令和5年）							
5年目（令和6年）							

7. 造林・保育の省力化・低コスト化

	伐採と造林の一貫作業システムの導入	コンテナ苗等の使用	低密度植栽	下刈りの省略	その他
申請時					
1年目（令和2年）					
2年目（令和3年）					
3年目（令和4年）					
4年目（令和5年）					
5年目（令和6年）					

8. 主伐後の再造林の確保

	主伐及び主伐後の再造林を、直営施業又は他者への請負により実施する体制	主伐及び主伐後の再造林を、連携する他の林業経営体と一体的に実施する体制	連携する相手等の名称	自己所有森林における主伐後の適切な更新の実施	他者所有森林での主伐にあつては、森林所有者等に対する事前の適切な更新の働きかけ	9. 伐採・造林に関する行動規範の策定等	
						独自の行動規範等の策定・遵守	所属団体や県・市町等が策定した行動規範等の遵守
申請時						策定等している	策定等している
1年目（令和2年）						策定等している	策定等している
2年目（令和3年）						策定等している	策定等している
3年目（令和4年）							
4年目（令和5年）							
5年目（令和6年）							

10. 雇用管理の改善及び労働安全対策

	①雇用管理の改善				②労働安全対策等		
	現場作業員の常用化	現場作業職員への月給制の導入	計画的な研修実施などの教育訓練の充実	社会保険・退職金共済等への加入等、	その他（ ）	現場作業職員等への安全衛生教育の実施	労働保険への加入（一人親方の特別加入を含む）
申請時	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
1年目（令和2年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
2年目（令和3年）	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		取り組んでいる	取り組んでいる
3年目（令和4年）							
4年目（令和5年）							
5年目（令和6年）							

	②労働安全対策等						
	リスクアセスメント	防護具等の着用の徹底	作業現場の安全巡回	労働安全コンサルタント等専門家による安全診断・指導	その他 ()	死亡労働災害の発生件数	現場作業職員の休業4日以上の負傷労働災害発生件数
申請時	1年以内に取り組む予定	取り組んでいる	取り組んでいる	1年以内に取り組む予定			
1年目 (令和2年)	未着手	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	1
2年目 (令和3年)	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる	取り組んでいる		0	0
3年目 (令和4年)							
4年目 (令和5年)							
5年目 (令和6年)							

11. 環境への配慮

12. 人材の育成

	環境に配慮した取組	左記の具体的な取組内容	計画的な技術者の育成等に対する取組	左記の具体的な取組内容
申請時	取り組んでいる	作業効率のみを求めず、間伐率は25%、作業道は基本2mに抑え、山の崩壊を最小限に心がけている。	1年以内に取り組む予定	フォレストワーカー研修に参加させ、山林業務の知識を習得するとともに、OJTにより計画的に技術者を育成する予定である。
1年目 (令和2年)	取り組んでいる	作業効率のみを求めず、間伐率は25%、作業道は基本2mに抑え、山の崩壊を最小限に心がけている。	未着手	・令和3年度 『緑の雇用』FW研修への参加 ・令和3年度 『みえ森林・林業アカデミー』ディレクターコース 受講
2年目 (令和3年)	取り組んでいる	作業効率のみを求めず、間伐率は25%、作業道は基本2mに抑え、山の崩壊を最小限に心がけている。	取り組んでいる	奈良県にてフォレストワーカー研修に参加している。
3年目 (令和4年)				
4年目 (令和5年)				
5年目 (令和6年)				

13. 常勤役員の設置

14. その他、地域への貢献、表彰実績に関する情報

申請時	設置している	『森林境界明確化』事業を実施中である。 森林経営計画(奈良県宇陀市、三重県津市)を執行中である。認定森林施業プランナーによる提案型施業を実施している。 木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明、発電利用に供する木質バイオマスの証明を受けている。 地域まちづくり協議会主催の『林業体験』を実施している。近隣バス停留所へ木製ベンチを寄贈した。
1年目 (令和2年)	設置している	引き続き『森林境界明確化』事業を実施中である。 森林経営計画(奈良県宇陀市、三重県津市・伊賀市)を執行中である。認定森林施業プランナーによる提案型施業を実施している。 木材・木材製品の合法性・持続可能性の証明、発電利用に供する木質バイオマスの証明を受けている。
2年目 (令和3年)	設置している	奈良県宇陀市において『森林境界明確化』事業実施中。森林経営計画(奈良県宇陀市、三重県津市3カ所、三重県伊賀市)執行中。認定森林施業プランナーによる提案型施業の実施 WOOD DESIGN賞入賞
3年目 (令和4年)		
4年目 (令和5年)		
5年目 (令和6年)		

15. それぞれの取り組みにあたっての課題、今後の対応方針等について記載してください。

1年目 (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は路網の整備しにくいところでバイオマス用材を出荷したため生産性が下がってしまったが、次年度はグラップル、フォワードが活躍し改善する予定である。 ・今年度はホームページに求人広告を載せた効果もあり、20代の2名が新規に雇用することができ、今後の戦力として大いに期待している。また、人材育成として令和3年度緑の雇用FW研修に参加させる予定である。 ・リスクアセスメントについては三重県の講習会に参加し、社内で共有する予定である。
2年目 (令和3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はウッドショックの影響を受け原木価格が上昇し、またグラップル、フォワードが活躍し増収となり、大きく改善した。 ・今年度は20代の2名が離職してしまったが、新規に2名雇用することができ、何とか戦力を維持している。 ・また、来期は緑の雇用FW1に参加し、今後の戦力として大いに人材育成に努めたい。 ・素材生産量は5年後の目標はクリアしたがさらに上を目指すとともに、生産性を向上させていきたい。
3年目 (令和4年)	
4年目 (令和5年)	
5年目 (令和6年)	